検査室の紹介②

検査室だより　2026.10

今回は、当院で可能な生理検査についてご紹介します。



★生理検査★

患者さんの身体に直接触れて行う検査です。

主に、以下のような検査を行っています。

心電図検査

心電図とは、心臓の電気的な活動を波形として記録したものです。波形のかたち、大きさ、リズムなどから、不整脈や心筋梗塞などの可能性がないか、心臓の状態を読み取る手がかりになります。

ABI 検査

足の血管の硬さや詰まり具合を調べる検査で、血管年齢が分かります。検査は簡単で、両腕両足首に血圧計を巻き、心電図電極と心音計を付けて血圧を測定します。

呼吸機能検査

肺活量とは、めいっぱい息を吸い込んだ後に、肺から吐き出せる空気の量です。ほぼ同じ要領で、努力性肺活量も測定できます。肺そのものに原因がある場合、間質性肺炎や肺気腫などで値が低下します。



超音波検査（エコー）

腹部や心臓、頸動脈などの超音波検査（エコー）を行っています。対象の部位にゼリーを塗り、機器のプローブを当てて超音波を照射し検査します。対象物に超音波が当たると、一部は反射してプローブに戻ってきます。その超音波をコンピュータで処理して、画像化しています。放射線被ばくの心配がありません。

ホルター心電図検査

24 時間心電図を記録する検査です。病院での心電図は、せいぜい長くても 3 分ほどです。不整脈などでは検査中に出ないこともあり、長時間の記録が必要な場合、心電図を付けて帰宅していただきます。機械は 50g ほど（卵 1 個分）です。

お気軽に医師・看護師までご相談ください。

医療法人 良秀会
泉北藤井病院